

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/challenge2050/>

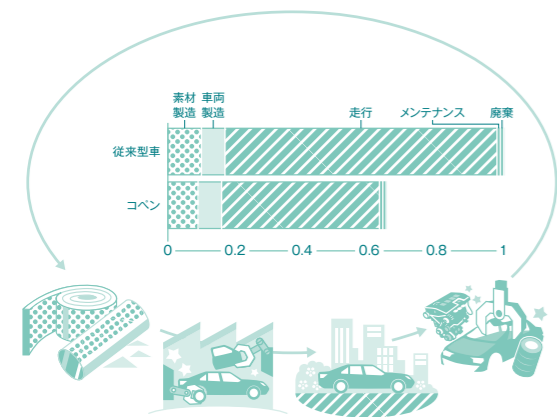
「人とクルマと自然が共生する社会」を目指して ～トヨタ環境チャレンジ2050～

トヨタは、温室効果ガスに起因する異常気象、生物多様性の喪失、水不足など、深刻化する地球環境の諸問題に対し、これまでも幅広い取り組みを推進してきました。今後もクルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、地球・社会にプラスとなる取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献するための6つのチャレンジ(ゼロへのチャレンジ と、プラスへのチャレンジ)を実施していきます。

CO₂ “^{ゼロ}0” へのチャレンジ ～環境負荷をゼロに近づけるためのトヨタの取り組み～

クルマの一生のCO₂削減をデザインしています

CO₂ ^{ゼロ}0 ライフサイクルCO₂ゼロチャレンジ



トヨタでは燃費を良くするだけでなく、設計段階から、製造・廃棄・リサイクルにいたるクルマの一生を通して、CO₂排出量を削減するための取り組みを行っています。

燃費の良いクルマを選ぶと、CO₂の削減に協力できます

CO₂ ^{ゼロ}0 新車CO₂ゼロチャレンジ



クルマは、燃費が良くなればなるほど、CO₂の排出量を削減することができます。トヨタでは、燃費を向上させるために、あらゆる部品の軽量化や効率化を推進しています。

エコカーだけでなく、エコ工場にも力を入れています

CO₂ ^{ゼロ}0 工場CO₂ゼロチャレンジ



コペンをつくる工場は、クルマの組み立てを熟練工の手で行う生産ラインを実現。設備を必要最小限にすることで、使用するエネルギーの少ない、環境に優しい工場造りに取り組んでいます。また、従業員への積極的な環境教育や、植栽で外壁を覆うことで消費電力を抑える「グリーンカーテン」の採用など、様々なアプローチでCO₂排出量の削減を進めています。

地球環境へ プラス “+”のチャレンジ

～より良い環境をつくるための
トヨタの取り組み～

緑をつなぐ活動をひろげていきます



人と自然が共生する 未来づくりへのチャレンジ

コペンをつくる工場の従業員は、近隣住民の方々と共に、周辺地域の清らかな河川の流れや豊かな緑を守る活動を行っています。外来植物の駆除や山の清掃といった地域の生態系保全に貢献する取り組みを今後も着実に続けていきます。

トヨタ コペン 環境仕様

車両仕様		3BA-LA400A	
エンジン	型式	KF型	
	総排気量	L	0.658
	燃料	無鉛レギュラーガソリン	
駆動装置	駆動方式	2WD (前輪駆動)	
	変速機	CVT (自動無段変速機)	5速マニュアル
環境情報			
燃料消費率	燃料消費率*1 (国土交通省審査値)	km/L	19.2
	CO ₂ 排出量	g/km	121
排出ガス	認定レベルまたは適合規制 (国土交通省)	平成30年排出ガス規制適合*2	
	認定レベル値または適合規制値 (g/km)	CO	1.15
		NMHC	0.1
		NOx	0.05
車外騒音	規制区分	平成28年騒音規制 M1A2A	
	加速/定常/近接	dB	70 (規制値) / - / -
冷媒の種類 (GWP値*3) / 使用量		g	HFO-1234yf (1*4) / 290
	鉛	自工会2006年自主目標達成 (1996年比1/10以下*5)	
環境負荷物質削減	水銀	自工会自主目標達成 (2005年1月以降使用禁止*6)	
	カドミウム	自工会自主目標達成 (2007年1月以降使用禁止)	
	六価クロム	自工会自主目標達成 (2008年1月以降使用禁止)	
		自工会目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)	
車室内VOC*7	リサイクルし易い材料を使用した部品	インストルメントパネル、ピラーガーニッシュ、ドアトリム、フロント・リヤバンパーなど	
	リサイクル材の使用	エンジンアンダーカバー、ダッシュサイレンサー、リヤホイールハウスライナーなど	
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり	
環境負荷物質使用状況等	鉛	電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子 (PZTセンサー) 等に使用 鉛廃止済み部品: 電着塗料、燃料ホース、パワステ高圧ホース、ホイールバルンサー、電球と点火プラグ、塩ビ・ゴム部品、バルブシート、軸受けなど	
	水銀	水銀廃止済み部品: コンビネーションメーター	
	六価クロム	六価クロムの使用無し 六価クロム廃止済み部品: 金属部品類やボルト・ナット類の防錆目的コーティング他	
	カドミウム	カドミウムの使用無し カドミウム廃止済み部品: 電気・電子部品のICチップ基板、厚膜ペースト他	

*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。 *2. WLTCモード走行。 *3. GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) *4. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められています。 *5. 1996年乗用車の業界平均1,850g (リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く)。 *6. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外) *7. VOC: Volatile Organic Compounds

自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

リサイクル料金表	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
全車	5,240円	2,800円	—	130円	290円	8,460円

※リサイクル料金は'22年9月時点の金額。
■リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者 (譲渡人) は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者 (譲受人) からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくは、取扱い販売店におたずねください。